

# TSUDOI

## スタンダードプラン

### 週次レポート

2023/11月 4W

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

#### 本レポートコンテンツ

- ◆TOP銘柄分析ガイド
  - 今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測
- ◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド
  - 世界トレンド銘柄の分析
- ◆大穴：新規銘柄発掘ガイド
  - CMC新規リスト銘柄分析

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、TSUDOI サイト中・上級者向けコンテンツ内に投稿してあります [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。






有料  
レポート

# 週次トークン価格 高騰TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド

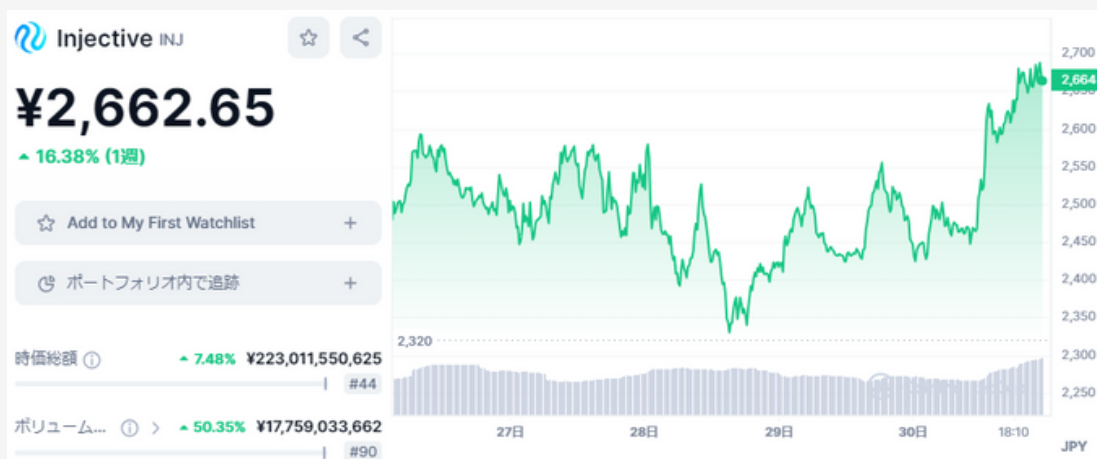
分析日時：11/30

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰したTOP銘柄を調査し情報を提供するものです。話題になっている銘柄を週次でまとめて分析することで、市場で何が起こったのかどの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量 ランク	上昇率 7days
#41	 <a href="#">Injective</a>	layer 1	¥221,983,343,486	¥2,650.92	164.29 倍 (ETH比)	#47	▲16.36%
#30	 <a href="#">THORChain</a>	DeFi	¥324,969,422,108	¥962.24	1.585倍 (UNI比)	#16	▲12.01%
#38	 <a href="#">Mantle</a>	Layer2	¥246,678,456,601	¥78.92	4.290倍 (MATIC比)	#67	▲7.48%

## TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTCは、直近7日間で▲1.06%となります。





参照元：Coinmarketcap




とは

リサーチ担当の目線で、関連ニュースから中長期的に、いい影響がありそうな銘柄に表示しています。

## 銘柄の価格高騰要因(考察)

### Injective

**注目ポイント：期待が高まる提携や統合の発表による影響** 

Injectiveは、年初から約220億円のエコシステム・ベンチャーグループを立ち上げ、エコシステムの成長を推進しています。特に直近10月下旬以降、トークン価格が上昇しておりこれは最近の提携や統合発表に起因する可能性が高いです。具体的な提携や統合には、10月25日のGoogle Cloud、BitGoとの統合、10月30日のnotifi、11月2日のKavaとの統合11月21日にOndo Financeによるトークン化された米国国債の利用可能発表などが含まれます。これらの動きは、投資家にとってInjectiveトークンの魅力を高める要因となっています。

### THORChain

**注目ポイント：Bitcoin取引を中間者なしで行えるという利点がDEX市場で実績を伸ばしている** 

11月2週目の週次分析レポートにも本銘柄は同トピックでピックアップされており、引き続きトークン価格が高騰し続けている銘柄となります。DeFi分野での信用度を把握するための1つの基準であるTVLの数値が業界内で現状7位と大きなボリュームを持ち、異なるブロックチェーン間のトレードを行うことのできる利点とこの実績について改めて注目を集めている状態となります。

### Mantle

**注目ポイント：2023年7月に上場後、Layer2として実績を伸ばしている**




で管理Layer2の実績としても、L2BEATという分析サイトにて、Layer2全体の中で6番目に、TVLが高いというデータがでており、直近7日間で唯一、TVLが30%以上伸びている急成長中なプロジェクトとなります。また、11/19に発表された大手分散型ウォレット「Trust Wallet」との統合については、MNT管理が簡単になりMantleで管理されたdAppsへのアクセスが拡大する統合がなされています。

# CMCサイト内 検索トレンド銘柄 新規リスト銘柄

狙い目：中堅銘柄・新規銘柄 発掘ガイド 分析日時：11/30

このガイドでは、将来的にトップランクになる可能性を持つ中堅銘柄を発見するために、二つの分析を行っています。まず、Coinmarketcap(CMC)の7日間の検索トレンドから、時価総額ランクトップ50に入っていない銘柄の情報を提供します。次に、CMCで新規リストされ、時価総額ランク50位から200位の間にある新規銘柄を毎週確認します。

## 検索トレンド3銘柄


CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク比較	24時間 取引量 ランク	検索上昇 率 7days
#73	 <a href="#">Terra Classic</a>	Payments	¥98,885,943,210	¥0.01703	133.80倍 (USDT比)	#38	55.50%
#70	 <a href="#">IOTA</a>	DAG	¥100,986,573,590	¥33.24	4.10倍 (KAS比)	#8	25.47%
#78	 <a href="#">Oasis Network</a>	Layer1	¥86,370,895,906	¥12.87	418.75倍 (ETH比)	#166	23.59%

## CMC新規リスト銘柄-11/30現在-

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量 ランク	上昇率 30days
11/24~30に、52銘柄リストされましたが時価総額ランク50-200位に該当する銘柄無し。							

# 検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)

## Terra Classic

**注目ポイント：トークンのバーン(焼却)イベントに注目が集まっています** 

Terra Luna Classicコミュニティは、**トークンバーンを推奨する方針を打ち出し**、多くの主要な取引所がこれを支援する形でバーンが定期的に行われています。これは、**LUNC価格の驚異的な45%の急上昇の要因**となっています。この支援にBinanceも前向きで直近7億6,000万以上のLUNCをバーンしています。この状況受け、LUNCの復活を願っている楽観的な見方をしている人たちも増えてきており、価格高騰の要因となっています。

## IOTA

**注目ポイント：大規模なアブダビのIOTA基金が始動したことが起因が始動したことが起因**

IOTA財団は、アブダビに設立されたIOTA Ecosystem DLT Foundationに対して\$100 Million相当のIOTAトークンを4年間で提供します。この動きは、中東地域でのIOTAの分散型台帳技術（DLT）戦略の一環であり、リアルワールドの資産をデジタル化することに焦点を当てています。この基金設立は、アブダビのブロックチェーン基金の規制枠組み下で初めて行われ、IOTAの市場での再ポジショニングと成長加速に寄与することが期待されています。

## Oasis Network

**注目ポイント：不明**

Oasis Networkは、プライバシーに焦点を当てたレイヤー1プロジェクトとして、複数のプロダクトをリリースするなど2023年も事業を進捗させていっている様子がSNS上で把握することができます。しかし、業界メディア等では、相場分析の話題の1つに上げられることはあっても、事業の進捗や大きなイベント、提携があったなどのファンダメンタル的な要素を取り上げている記事は見当たらず、価格高騰の要因も不明確になります。

## 中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。Terra Classic:LUNCは、取引量で45位にランクインしIOTA:IOTAは、9位となります。IOTAは先月末に発表された上記重要ポイントが要因で、急上昇しており、直近の順位は▼65.63%下がった状態での9位となるため、非常に影響力のある事例だったことが分かります。





## 引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>

## 注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。

レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト： <https://tsudo-platform.co.jp/>